

テーマ

アフリカは世界と どうつながっているのか

適用
分野

国際金融論, 開発経済学



研究
名称

アフリカにおける金融のグローバル化と経済成長

氏名
所属

杉本喜美子 教授
マネジメント創造学部

内容

アフリカにおける金融のグローバル化が、アフリカ諸国の持続的な経済成長にどう貢献しているのかを検証する。

●**特徴：** 一次産品依存の経済構造を持つアフリカ諸国の多くは、2004年以降の資源価格高騰によって輸出と資本流入を増やし景気の拡大につながった。しかし世界金融危機、元宗主国の多くを含んだ欧州債務危機、2014年以降の原油価格下落、今回のコロナ危機など国際環境が厳しくなると、国際投資家の資金が還流し、再び経済成長が鈍化する国も出てきている。一方、成長の原資となる資金を外国から調達するため、ビジネス環境を整備・改善し、外国企業を誘致するとともに、新しいベンチャー企業を立ち上げ、農業・製造業から教育に至るまでICT（情報通信技術）活用にもつて動く国は、厳しい環境のもとでも経済を成長させている。つまり、アフリカは、多様性をもつ国々の集団であるといえるだろう。

今回のコロナ危機が世界金融サービスのデジタル化を加速させることで、通常の銀行にアクセスすることの難しい貧困層の送金や決済は、飛躍的に容易となり、アフリカの資金調達の在り方をも大きく変

えていくだろう。外国人投資家が株式や債券を購入する、外資系金融機関がアフリカ企業に融資するなど、「金融のグローバル化」はますます加速するが、一方こうした資金調達に依存することのリスクもまた増加するという意味で、アフリカの経済成長にとって諸刃の剣となることに注意が必要である。

そこで、資本受入国であるアフリカ諸国と資本提供国である先進国（投資家）双方の特徴を把握することで金融グローバル化はアフリカの経済成長にとって有益か、脆弱性をもたらしていないかを検証する。

●**研究内容：** 以下の4点を中心に実証分析を行う。

- ①アフリカにおける金融グローバル化の実態と、資本流入の決定要因
- ②金融グローバル化が経済成長に貢献するため求められる国内金融発展の程度
- ③金融グローバル化がアフリカ各国の生産性と貧困削減に与える影響
- ④資本規制/為替制度選択/マクロプルーデンス政策実施など、金融グローバル化を享受するために求められる制度や政策の選択

キーワード

金融市場, 資本流入, スピルオーバー, アフリカ, パネル分位点回帰モデル, 確率フロンティア分析

連携方法

■ 講演 □ 研修 □ 研究相談 □ 学術調査 □ コメント □ 共同研究